



「ミリキタニの猫」 配給：パンドラ

9月8日より、東京・ユーススペース、広島・シネツインほか順次公開。



ジミー・ツトム・ミリキタニ／1920年、カリフォルニア生まれ。広島で教育を受けた後、芸術に生きようと再びアメリカに。紆余曲折を経て路上画家となり、絵を売ったお金で生計を立てる。猫の絵は6歳から描き続けているとか。

猫を描いて80年。数奇な人生を歩んだ 87歳の老画家がついにブレイク!?

文：編集部

ホームレス人口が3～4万人ともいわれるNYで、強烈な個性を放つ日系人路上画家、ジミー・ツトム・ミリキタニ。「Make Art, Not War!」とつぶやき、ホームレスでありながら、絵の代金以外のお金は受け取りません。描く絵のほとんどが猫で、ほかには日系人強制収容所、原爆ドームなどなど、意味深なものばかり。いったい何者???

そんなジミーにいち早く興味を抱いたのが、NY在住の映像編集者リンダ・ハッテンドーフ。ソーホーの路上で出会ったジミーを主人公に、ドキュメンタリー映画をつくることにしたリンダは、カメラを回しながら、彼の壮絶な過去を明らかにしていきます。第二次世界大戦時に日系人強制収容所に送られ、アメリカへの抵抗から市民権を放棄、終戦後も各地を転々とし、80年代後半に職を失ってホームレスに。ジミーは行き場のないむなしさや怒りを筆先に託して、路上で絵を描き続けました。世間の目なんかおかまいなしに、自分だけを信じて……。

その後の急展開は映画「ミリキタニの猫」を観てのお楽しみ。どんな環境においても不屈の精神で闘ってきたジミーが、リンダの協力を得て、戦争によって失われた60年間を取り戻していく心温まる作品です。さらに、8月には念願の来日を果たし、作品集を発売、9月には劇場公開も決定、87歳にして日の目を見たジミーから目が離せません!

peace cats



jimmy tsutomu mirikitani

「ピース・キャッツ 「ミリキタニの猫」画文集」
ランダムハウス講談社／¥2,940 8月29日発売
絵と言葉、映画制作エピソードで綴るジミー・ツトム・ミリキタニ初の作品集。